



日頃より相双域内の社会教育の発展に多大なる御尽力をいただき、心から感謝申し上げます。域内の小中学校も第2学期を迎え、地域に学校に子どもたちの元気な声がかえってきました。6月・7月・8月と各種事業も計画の沿って進めることができましたこと、皆様の御協力のおかげと深く感謝申し上げます。

今後も、地域・学校・行政が一体となって相双域内の教育力の向上を図るための様々な事業を展開し、相双域内の社会教育のさらなる発展を目指していきたく思いますので、情報提供等、御協力のほどよろしくお願いいたします。

地域学校協働本部事業「学校・家庭・地域連携サポート事業」

地域連携担当教職員等研修会（地区別研修）

7月29日（水）、万葉ふれあいセンターにて「相双域内地域連携担当教職員等研修会」を開催しました。コロナウィルス感染拡大防止のため、会場変更などもある中、たくさんの方に参加いただきました。

研修会では、県社会教育課太田徹先生から、地域と学校の協働の必要性、期待される効果、地域連携担当教職員に期待される役割についてご講話いただき、相双域内の小・中・高、支援学校の実践事例を紹介させていただきました。講演では、地域連携では先進県である栃木県教育委員会小山田佳子先生をお招きし、「地域と連携した活動を進めるために」というテーマでご講演いただきました。

地域連携担当教職員が各校へ配置され2年目となる今年度は、地域連携計画の作成や地域連携に関する校内研修の方法、コーディネーターとの連絡調整の仕方など、具体的で即学校現場で実践できる内容についてお話しいただきました。参加者の方のアンケートからは、「各種資料から今やるべきことが見えてきた。まずはできるところからスタートしていきたい。」「本研修で学んだKPT法を取り入れ、活動の振り返りや評価を充実させていきたい。」などの回答をいただきました。

各校地域連携担当教職員が任命されているものの、チームとして機能しきれない状況や推進員（地域コーディネーター）不在の状況など、市町村によって課題は様々ですが、今後も役割の効果や組織的な取組についての事例を紹介し、成果を共有していきたいと思っております。

【栃木県地域連携教員のための手引き書】も大変参考となりますので、ぜひHPをご覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m06/tiikirenkeikyoinkatudousienzigyou.html>

